



学校だより 令和4年10月
新宿区立四谷第六小学校
校長 岩澤 肇

- 【 教 育 目 標 】
- ・自ら学ぶ子ども
 - ・たくましい子ども
 - ・思いやりのある子ども

ホームページ <http://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6>

「運動の日常化」を大切に

副校長 笥田 貴之

10月になり、早いものでもう年度の折り返し点となりました。7日には前期の通知表をお渡しします。4月から半年間の子どもたちの頑張りと努力、課題が記されています。できるようになったことや頑張ったことをご家庭でたくさん褒めてあげてください。また、ふり返りの時間をつくっていただき、新たな課題や目標をもって後期の学校生活に向かってほしいと思っています。

スポーツ庁は10月を「体力づくり強調月間」としていますが、昨年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を見ると、小・中学生の男女ともに令和元年度に比べ「体力は低下」し、「運動能力も種目によって大きく低下」しました。新聞等で報道もされましたのでご存じの方も多いと思います。低下の主な要因として、令和元年度から指摘された「①運動時間の減少②学習以外のテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像視聴時間の増加③肥満である児童生徒の増加」に感染症の影響を受け拍車がかかったためとスポーツ庁はコメントしています。また、「学校の体育の授業以外での体力向上の取組が減少したことも考えられる」としています。

一方で、コロナ禍においても運動やスポーツをする時間が増えたという子どもたちもいて、その特徴としては運動やスポーツの大切さを認識していて、体力が高い傾向が認められました。

社会全体で活動制限がある中、運動をしない、もしくは運動やスポーツをする時間が減少したままの生活習慣が定着してしまうということは避ける必要があります。

このような状況から、スポーツ庁は「学校や家庭において日ごろから子どもたちに、運動やスポーツをすることの大切さを伝えるとともに、運動の楽しさを実感し、工夫しながら運動をする習慣の定着に努めることが大切」とまとめています。

四谷第六小学校では、10月28日から11月20日までの約1か月、芝生の養生期間に入ります。この期間、運動やスポーツができる場所が限られてしまいましたが、工夫を凝らして運動の楽しさや大切さを子どもたちに実感させていきたいと思っています。是非ご家庭や地域でも、あらためて子どもたちの体を動かすことの楽しさ・大切さを伝え、日々運動に親しむことを大事にしていいただければと思います。

あゆみ（通知表）について

教務部

10月7日（金）に「あゆみ」（通知表）をお渡しします。「あゆみ」の評価は、絶対評価で行います。一人一人の発達段階をふまえ、その学期にどれだけ達成できたのかということの評価します。

学習の記録に関しては、①「知識・技能」②「思考・判断・表現」③「主体的に学習に取り組む態度」の三観点で評価を致します。また、「道徳」や「ときわぎ（総合的な学習の時間）」は、お子様の学習の様子を文章にてお伝えします。（3～4年生は外国語の活動の様子も文章でお伝えします。）

「あゆみ」は、お子さまがよくがんばった点やもう少し努力が必要な点を客観的に判断していただく材料にしていきたいと思います。その上で、お子さまが次の目標を見付け、更に成長していくことができるように、前向きな声掛けをお願いします。

運動会について

体育主任

「みんなで協力して思い出にのこる 運動会にしよう」

今年度の運動会のスローガンです。代表委員会を中心に全校の思いが詰まったものです。

10月に入ると、運動会に向けての練習・準備が本格的になります。今年度は1、3、5年生と2、4、6年生に分かれての運動会となります。各学年の演技・競技や児童の係活動等、四六小の子どもたち全員が活躍する姿をぜひご覧ください。運動会を通して、体を動かす楽しさ、協力することの大切さを実感させていきたいと思っています。